

令和6年度当初予算、令和5年度3月補正予算概要

新しい総合計画の開始年度にあたる令和6年度当初予算は、各政策を組み合わせ、各テーマに沿って人口減少という大きな政策課題に対応するための予算を計上しました。併せて、新幹線開業効果を最大化できるよう留意しました。

予算編成に当たっては、事業目的に応じ、ふるさと応援基金等からの繰入を行うとともに、国の第1次補正予算にあわせて事業の一部を令和5年度の補正予算に前倒しすることにより、事業の着実な推進を図りました。

その結果、新年度の予算規模は、前年度の肉付け後となる6月補正予算と比較して一般会計は2.0%の減、全会計では0.7%の減となりました。

当初予算の主な事業といたしましては、お手元に配布した資料のとおりですが、予算編成の重点施策ごとに主な事業等を申し上げます。

はじめに『子育て・教育』です。

結婚支援事業については、引き続き一人でも多くの結婚を希望する方を支援することができるよう、民間マッチングアプリの活用など、さらなる拡充に取り組めます。

老朽化した栗野保育園及び櫛林保育園に代わり、新たに設置する予定の幼保連携型認定こども園の建設候補地に関して、測量及び不動産鑑定を実施します。

次世代を担う地域に根差したデジタル人材の育成に向けて、デジタル教育の導入支援及びデジタルによる地域課題解決等に取り組むプログラムを実施します。

学校給食あり方検討委員会の答申に基づき給食単価の値上げを実施しますが、子育て家庭に対する支援として家計の負担が増加しないよう値上がり分を支援します。

次に、『定住・移住』です。

就学期・就労期に大きく人口が減少し、Uターン率が低調であるという現状を踏まえ、奨学育英資金貸付金に加え、新たに民間部門と連携した支援制度を設け、敦賀に帰り、働く誰もが支援を受けることができるホームタウン奨学金制度を創設します。

次に、『地域経済』です。

市内小中学生及び保護者に対する市内企業への理解促進や、業務内容への興味喚起を図るため、キッザニア監修のもとプログラムを開発し、企業が指導しながら、子どもたちが仕事の体験を行うイベントを開催します。

次世代を担う農業者の育成・確保が重要な課題であることから、市独自の施策として、新規就農者の技術習得や機械導入を支援します。

金ヶ崎周辺整備については、日本貨物鉄道株式会社用地の土地購入等を進めるとともに、公園及び駐車場等の公共部分の整備に向けて設計等を行います。

次に、『安心と暮らしやすさ』です。

余暇の充実、健康増進等に向けた、都市型スポーツを体感できるアーバンスポーツ施設整備について、先進地等の事例も踏まえ基本方針を検討します。

介護人材の確保に向けて、既存制度に加え、新たに介護福祉士や介護支援専門員等の資格取得者に対する奨励金や、外国人介護職員への就労助成制度等を創設し、介護人材の安定的な確保及び定着促進を図ります。

原子力災害が発生した場合に避難情報などを迅速・確実に伝達する防災行政無線の老朽化に伴い、更新に係る経費の債務負担行為を計上します。

以上が令和6年度当初予算の概要でございます。

続きまして、令和5年度3月補正予算について申し上げます。

3月補正予算につきましては、事業の完了や財源の確定に伴うもののほか、早期に予算措置を必要とするものについて計上いたしました。

国の補正予算を活用し、小中学校及び総合運動公園プールの改修を前倒しで実施する予算や、第96回選抜高等学校野球大会に出場する敦賀気比高等学校への激励費を計上しました。

その他の予算といたしましては、職員の早期退職に伴う退職手当や、福井県が実施する敦賀駅東線などの道路整備事業や敦賀西部地区土地改良事業の負担金を計上いたしました。

以上が3月議会に提案いたします令和6年度当初予算及び令和5年度3月補正予算の概要でございます。